



【指導事例 1】

- 1 主 題 「国のために、人のために」〔国や郷土を愛する態度〕
- 2 ねらい

我が国の発展に尽くした先人の努力を知り、国や郷土を愛し、大切にしようとする心情を育てる。

3 教材について（教材の生かし方や人物像）

本教材は、北海道の発展のために強い信念を貫いた廣井勇の功績に触れることを通して、ふるさとのよさや大切さに気付く、郷土を大切にしようとする心情を育むことをねらいとしています。

前半では、「北海道の発展に貢献する人間になる。」という志をもち、努力を続けながら優秀な技術者となって帰国する廣井勇の姿が示されています。

後半では、小樽港に防波堤を築くことを進言し、日本海の荒波に耐えられる防波堤を築くために昼夜を問わず実験を重ね、独自のコンクリートの製法を発見し、長い年月をかけて防波堤を完成させていく廣井勇の姿が示されています。

指導に当たっては、郷土を愛した廣井勇への自我関与を通して、自分たちの町や北海道の伝統や文化と自分との関わりについて考えを深めていくことが重要です。

4 展開例—①「北海道の発展に尽くした先人の想いや願いについて話し合うことを通して、郷土のよさや大切さについて考える展開」

	●学習活動 ○主な発問 ◎中心的な発問 ・予想される子どもの反応	・指導上の留意点（■評価）
導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 百年前からこの地域に残っているものについて話し合う。 ○ 百年前からこの地域(市・町)に残っているものには何がありますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・港は、明治時代からあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史的建造物や自然等の写真を提示する。 ・ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ● 教材「百年先の人々のために」を読み、話し合う。 ○ 廣井勇が、血のにじむような努力をし続けることができたのは、なぜでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・優秀な技術者になり、困っている人を助けたかったから。 ・北海道の発展に貢献したいという強い気持ちがあったから。 ◎ 廣井勇は、どのような思いで、「これで終わったわけではありません。防波堤は長い年月にたえてこそ、初めて成功と言えるのです。」と言ったのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・長い年月に耐えられなかったら、事故が起きてしまうので喜んでばかりはいられない。 ・防波堤は、町や町の人を守るために長い時間をかけてつくったので、長い年月に耐えてほしいという願いがあったから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「私は、私にしかできない何かを残したい。北海道の発展に貢献する人間になるんだ。」という志を貫いた廣井勇の思いについて話し合うことを通して、価値理解・他者理解を深められるようにする。 ・廣井勇の願いや思いを想像をすることを通して、郷土のために尽力することについて多面的・多角的に考えられるようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の伝統や文化のよさや大切さについて話し合う。 ○ 今、自分たちが住んでいる地域で、これからも大切にしていきたいものはありますか。また、それはなぜですか。(自分が住んでいる地域(市・町・村)の好きなところは何ですか。) ・海がきれいなおかげで、この町にはたくさんのお客さんがくるからこれからも汚さないようにしたい。 ・学校は、地域のためのものなので、建物だけではなく伝統なども大切にしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活や生き方を振り返り、自己理解を深めることができるようにする。 ■ 伝統や文化のよさや大切さについて、自分との関わりで考えている。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ● 教師の説話を聞く。 ※現在も、自分の住む町、北海道に思いを寄せ、郷土の伝統や文化を大切にしている人たちの取組などについての話をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの住む町の伝統や文化を大切にしていこうとする心情が育まれるようにする。

【指導事例 2】

1 主 題 「努力し続ける力」〔希望と勇気 克己と強い意志〕

2 ねらい

我が国の発展に尽くした先人の努力を知り、目標に向かって努力し続けようとする道徳的心情を育てる。

3 展開例—②「発展に尽くした先人の努力について話し合う活動を通して、困難があってもくじけずに努力することの大切さについて考える展開」

4 主な学習活動

(1) 自分がずっと努力しながら続けているものはありますか。

- ・習い事のピアノは練習が辛いけど、続けている。
- ・家庭学習は、毎日時間を決めてやるようにしている。
- ・スキー選手になってオリンピックに出るために、毎日練習をがんばっている。

(2) 廣井勇が、11年間もコンクリートの研究や防波堤の工事を続けることができたのはどうしてだと思いますか。

- ・自分の立てた目標を達成するため、努力し続けたから。
- ・みんなで力を合わせて取り組んできたのに、途中でやめるのが悔しかったから。
- ・北海道の発展のために、小樽港へ防波堤を築く必要があると信じていたから。

(3) 困難があったときに諦めないために大切なことは何だと思いますか。

- ・やり始めたときの気持ちを思い出してやる気を出すこと。
- ・強い気持ちをもって、何事にも立ち向かっていく勇気。
- ・やり遂げて喜んでいる自分の姿を想像すること。

□ 活用場面例（道徳科以外での活用事例）

■ 社会科

地域の伝統や文化、先人の働きに関する学習において、本教材を活用し、地域の発展に尽くした先人は様々な苦心や努力により生活の向上に貢献したことに触れることを通して、地域の文化財や年中行事は地域の人々の願いが込められ受け継がれていることについて考えを深めることができるようにする。

■ 特別活動（学校行事）

希望や目標をもって生きる態度の形成の指導において、学芸会やマラソン大会などの行事の前に、本教材を活用し、先人の努力に気付くことを通して、自分の目標に向かって努力し続けることの大切さと、困難なことがあってもくじけない強さについて考えることができるようにする。

■ 家庭や地域との連携

学級通信等において、本教材について行った学習の様子を家庭に伝えることを通して、地域の伝統的な行事や習慣、古くから伝わる遊びなどについて話題となるよう働きかけるとともに、家庭や地域の協力を得ながら、地域の行事に主体的に参加しようとする実践意欲を高めることができるようにする。